



人を想い、
地球を想う。

第103期 年次報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで



三ツ星ベルト株式会社

過去最高の売上高。営業利益は5期連続して過去最高益を更新。 創業100周年に向け、全社一丸となって更に成長し続けます。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第103期の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心からお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、為替が年初よりやや円高に進んだものの、期間を通じて円安基調で推移したことにも後押しされ、企業収益の改善を背景に雇用環境も改善が見られ、全体として回復基調が続きました。

一方、海外においては、米国や北朝鮮をはじめとした政治情勢による影響が懸念されたものの、米国・欧州経済ともに堅調に推移しており、中国をはじめアジア地域も底堅く、総じて良好に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

今後の企業を取り巻く環境は、国内経済は、引き続き、回復基調が続くと予想され、海外においても米国や欧州並びにアジア地域も順調に推移することが予想されますが、一方で、米国の政策動向や海外での貿易摩擦に対する懸念、これらに伴う為替の変動、さらに原油価格の動向など懸念事項が多く、世界経済は先行き不透明な状況が予想されます。

当社グループでは、原材料コストの高騰やアジア諸国での人件費の増加、為替変動の影響など収益の圧迫が懸念されますが、このような状況に対応するため、当社グループ全体で一段と経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、柔軟な生産体制の確立と販売体制の強化並びに強固な財務体質づくりを推進いたします。また、次世代の産業分野のニーズに対応できる「高機能、高精度、高品質な製品づくり」を目指すため、引き続き研究開発体制の強化・充実を図り、業績の確保に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年6月



代表取締役会長

西河 紀男



代表取締役社長

垣内 一

連結業績概況

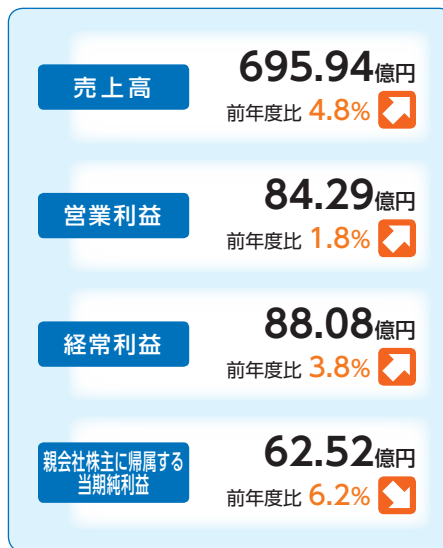
当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高695億94百万円（前連結会計年度比4.8%増）、営業利益84億29百万円（前連結会計年度比1.8%増）、経常利益88億8百万円（前連結会計年度比3.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は62億52百万円（前連結会計年度比6.2%減）となりました。

財政状態については、当連結会計年度末は、現金及び預金の増加等により流動資産が38億55百万円、株価の上昇等により固定資産が17億47百万円とそれぞれ増加したことから、総資産は前連結会計年度末比56億2百万円増加の955億14百万円となりました。

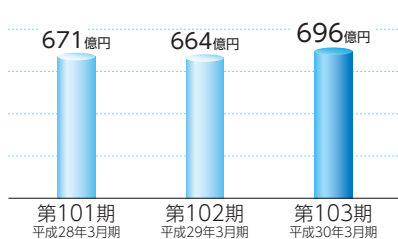
また、負債は、固定負債が3億16百万円減少したものの、流動負債が7億6百万円増加したことから、前連結会計年度末比3億89百万円増加の271億65百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が48億1百万円増加した結果、前連結会計年度末比52億12百万円増加の683億48百万円となりました。

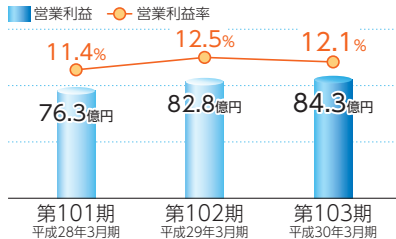
以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から71.6%に上昇しました。



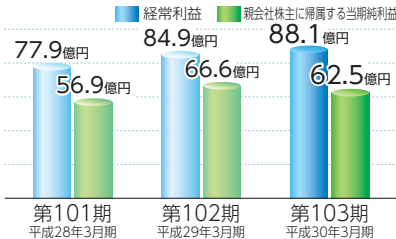
▶ 売上高



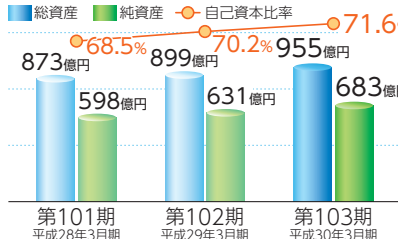
▶ 営業利益・営業利益率



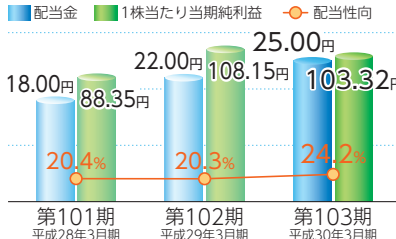
▶ 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



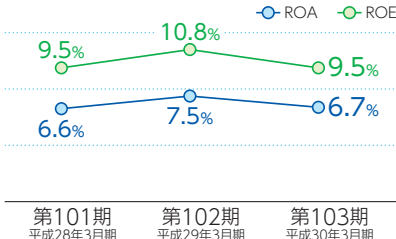
▶ 総資産・純資産・自己資本比率



▶ 配当金・1株当たり当期純利益・配当性向

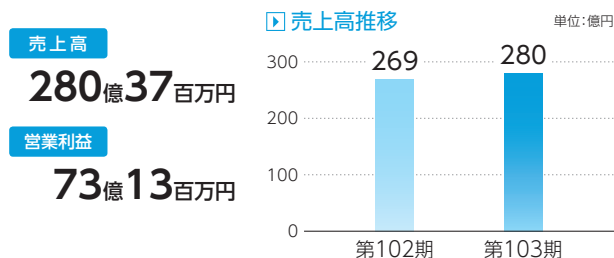


▶ ROA (総資産利益率)・ROE (自己資本利益率)



事業部門別状況

国内ベルト事業



自動車用ベルトの売上高は、組み込みライン用は減少したものの、軽自動車用の販売が増加したことなどから、前連結会計年度並みとなりました。補修用は車検交換需要の低下により売上高が減少し、全体では前連結会計年度を下回りました。

一般産業用ベルトは、射出成形機業界やロボット業界向けの販売が好調に推移したことなどから大幅に売上高が増加しました。また、搬送ベルトは通販市場の拡大に伴い物流業界向けの売上高が増加し、合成樹脂素材も半導体・液晶製造装置向けを中心に増加しました。

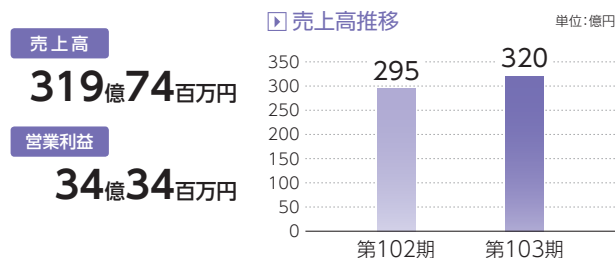
一方、OA機器用ベルトはユーザの中国市場向け機種への減少影響などから、売上高は減少しました。

その結果、当事業の売上高は280億37百万円（前連結会計年度比4.2%増）、営業利益は73億13百万円（前連結会計年度比11.1%増）となりました。



高い伝動容量を備え、機械装置のコンパクト化に貢献する「ギガトルクGX」

海外ベルト事業

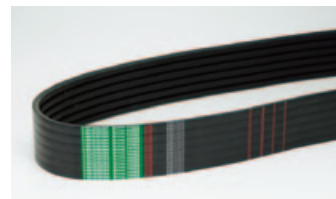


自動車用ベルトは、米国では積極的な拡販活動による新規受注の獲得により売上高が伸張し、アジアでは補修市場での拡販活動が奏功したことや、二輪車用の新機種への組み込みなどから売上高が増加しました。また、欧州においても売上高が増加し、自動車用ベルト全体では売上高が伸張いたしました。

一般産業用ベルトは、アジアでは中国市場で農業機械用の落ち込みがあったものの、タイ・インドネシアなどの東南アジアで一般補修用の拡販により売上高が増加しました。米国・欧州においては為替の影響により売上高が増加し、一般産業用ベルト全体では売上高が増加いたしました。

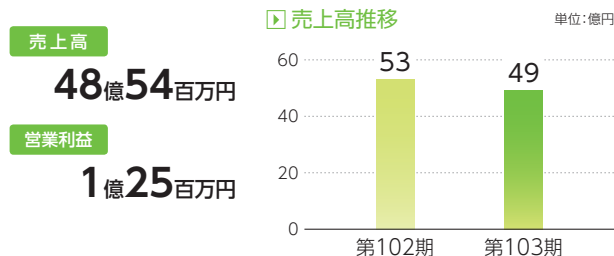
また、OA機器用ベルトは横ばいで推移しました。

その結果、当事業の売上高は319億74百万円（前連結会計年度比8.4%増）、営業利益は34億34百万円（前連結会計年度比1.7%増）となりました。



過酷な条件下でもすぐれた耐久性を発揮し、ベルトの横転を防ぎ、安定した伝動ができるマルチ(結合)タイプの“ラップドVベルト”

建設資材事業



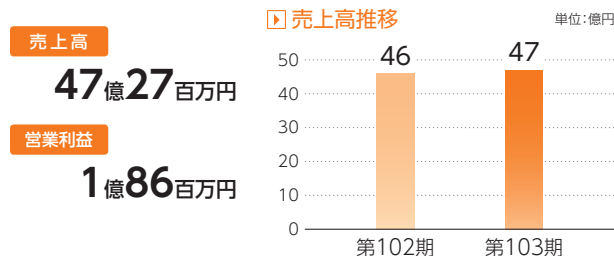
建築部門は公共や民間の改修工事の需要が減少したことに加え、土木部門も大型の工事物件が少なかったことから、全体では売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は48億54百万円（前連結会計年度比9.2%減）、営業利益は1億25百万円（前連結会計年度比72.2%減）となりました。



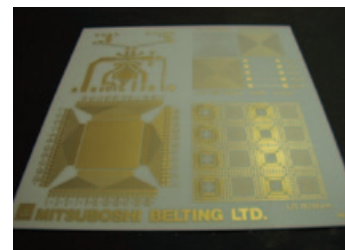
処分場で遮水シートとして使用される「ディスプレイナー・シリーズ」

その他



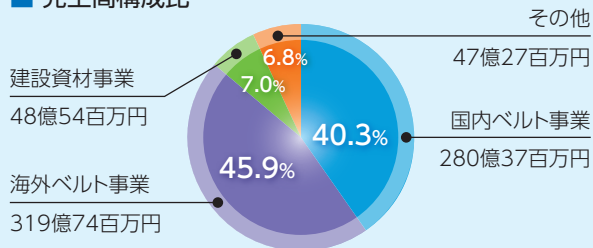
その他には、エンジニアリング ストラクチャルフォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

当事業の売上高は47億27百万円（前連結会計年度比1.8%増）、営業利益は1億86百万円（前連結会計年度比8.9%増）となりました。

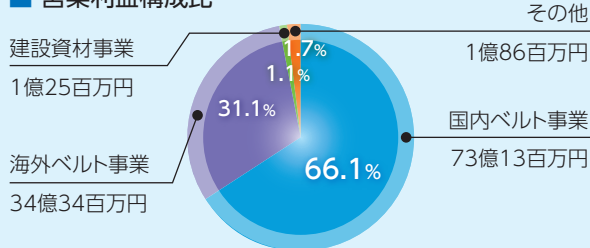


各種セラミック基板に対応した三ツ星ベルトの導体ペースト。「CUX®シリーズ」銅ペーストを用い形成したアルミナ基板回路配線

売上高構成比



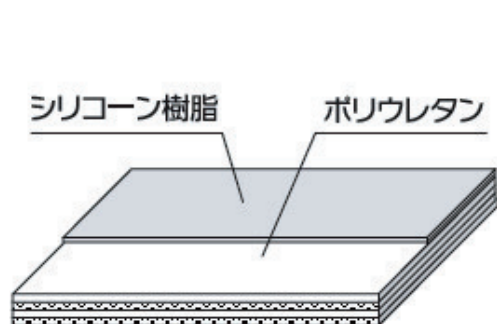
営業利益構成比





食品搬送用途樹脂ベルト『**ママライン**』シリーズは、食の現場をクリーンにサポートします。

食品搬送用途樹脂ベルト「ママライン®」シリーズの1品種である、ポリウレタンベルトの表面に、離型性・グリップ力に優れたシリコンをコーティングした「シリコンコーティングベルト」は、パンや菓子生地、包装品といった非粘着およびグリップ力が必要なラインで使用されています。



ママライン®	製品	特長
非粘着ベルト 粘着物の搬送に適したタイプ	フッ素コーティング	耐熱、非粘着性に優れたフッ素コーティングタイプ
	ハイブリッドシリコン	離型効果の持続性が高い新素材のハイブリッドシリコンタイプ
	シリコンコーティング	離型性およびグリップ力に優れたシリコンコーティングタイプ
	ポリウレタン	離型性に優れた材料(綿、ポリウレタン)もしくはパターン付きタイプ
	ポリオレフィン	離型性・耐薬品性に優れたポリオレフィンタイプ

FOOMA JAPAN 2018 (2018国際食品工業展) に出展

当社は、2018年6月12日～15日に東京ビッグサイトで開催されたFOOMA JAPAN 2018(2018国際食品工業展)に出展しました。

今回の出展では、開発から製造、アフターサービスまでを一貫して行い、現場での問題を解決へと導く「ワンストップソリューション」をテーマに掲げ、食品搬送用途樹脂ベルト「ママライン®」シリーズを中心に食の安心・安全に対応した樹脂コンベヤベルトや加工技術を紹介しました。



第22回機械要素技術展に出展

当社は、2018年6月20日～22日に東京ビッグサイトで開催された第22回機械要素技術展に出展しました。

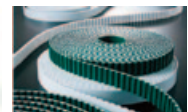
展示ブースでは、様々な産業機器に使用される「ギガトルクGX」・「メガトルク」シリーズ、金属部品からの置換えで軽量化・制音化につながる「合成樹脂素材」などを展示し、来場した多くの国内外ユーザーの調達担当者や設計者へ、多事業に展開する当社製品をPRしました。



メガトルクEX



合成樹脂素材

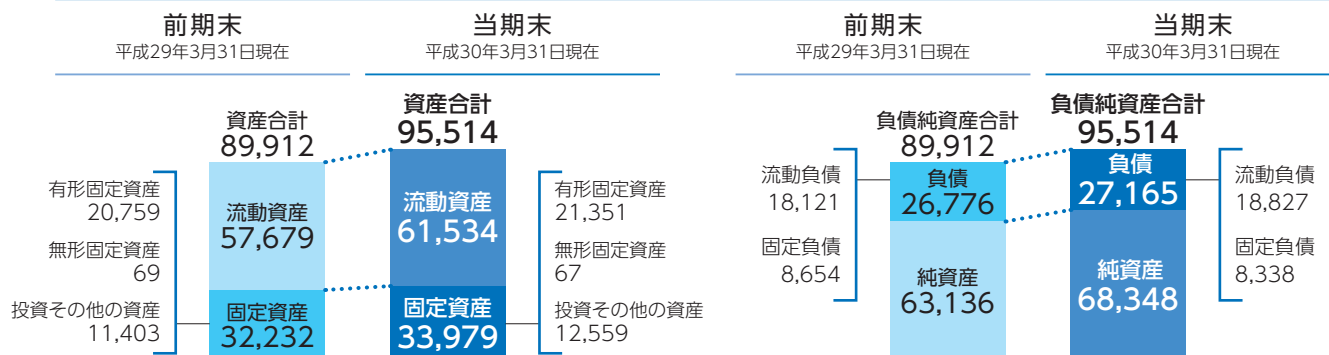


フリースパン®ベルト

連結財務諸表

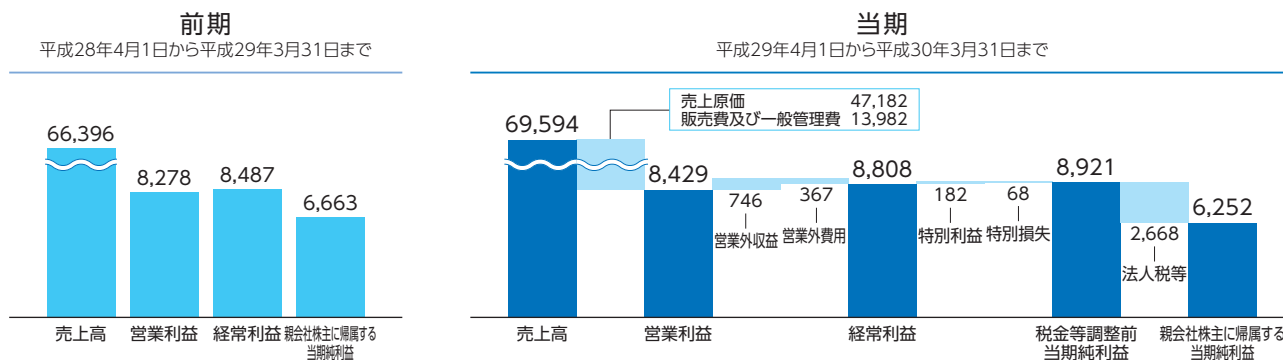
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



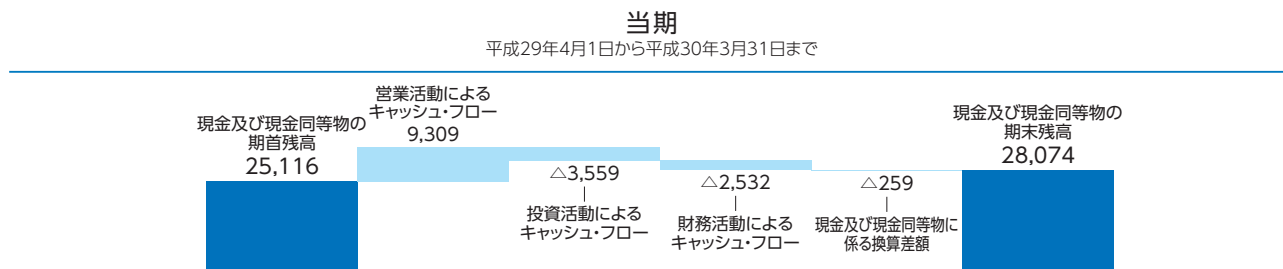
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成29年 3月31日現在	平成30年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	57,679	61,534
現金及び預金	26,262	28,958
受取手形及び売掛金	14,648	15,001
その他	16,769	17,574
固定資産	32,232	33,979
有形固定資産	20,759	21,351
無形固定資産	69	67
投資その他の資産	11,403	12,559
資産合計	89,912	95,514
負債の部		
流動負債	18,121	18,827
固定負債	8,654	8,338
負債合計	26,776	27,165
純資産の部		
株主資本	57,285	62,075
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,111
利益剰余金	50,328	55,129
自己株式	△ 3,305	△ 3,315
その他の包括利益累計額	5,851	6,273
純資産合計	63,136	68,348
負債純資産合計	89,912	95,514

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成28年 4月 1日から 平成29年 3月31日まで	平成29年 4月 1日から 平成30年 3月31日まで
売上高	66,396	69,594
売上原価	44,649	47,182
販売費及び一般管理費	13,468	13,982
営業利益	8,278	8,429
営業外収益	785	746
営業外費用	576	367
経常利益	8,487	8,808
特別利益	1,080	182
特別損失	161	68
税金等調整前当期純利益	9,406	8,921
法人税、住民税及び事業税	2,530	2,437
法人税等調整額	212	231
当期純利益	6,663	6,252
親会社株主に帰属する当期純利益	6,663	6,252

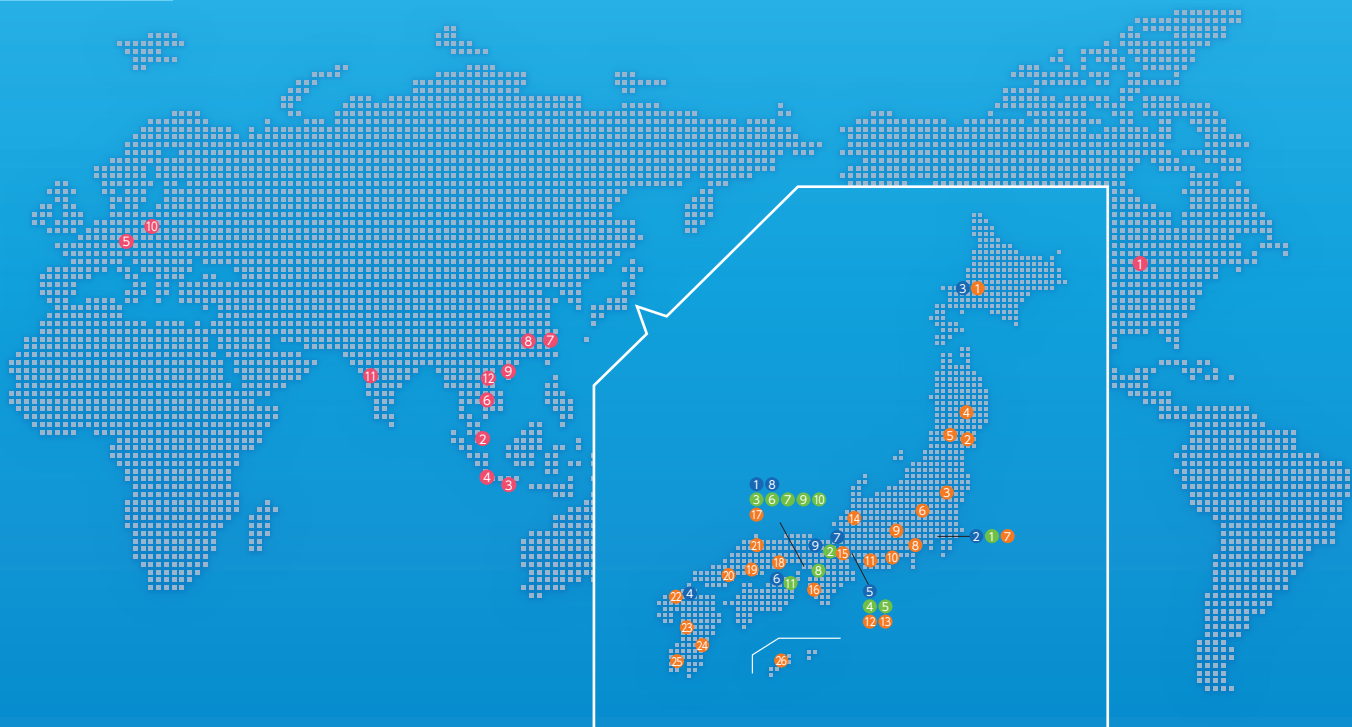
(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成28年 4月 1日から 平成29年 3月31日まで	平成29年 4月 1日から 平成30年 3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,216	9,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,998	△ 3,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,196	△ 2,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	△ 259
現金及び現金同等物の増加額	1,104	2,958
現金及び現金同等物の期首残高	24,011	25,116
現金及び現金同等物の期末残高	25,116	28,074

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンベヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑨ 神戸三ツ星サービス(株)
- ⑩ エムエムコート(株)
- ⑪ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ 郡山営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 北関東営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 神奈川営業所
- ⑨ 山梨営業所
- ⑩ 静岡営業所
- ⑪ 浜松営業所
- ⑫ 名古屋営業所
- ⑬ 小牧営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 粟東営業所
- ⑯ 和歌山営業所
- ⑰ 神戸営業所
- ⑱ 岡山営業所
- ⑲ 福山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松江営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 熊本営業所
- ㉔ 宮崎営業所
- ㉕ 鹿児島営業所
- ㉖ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

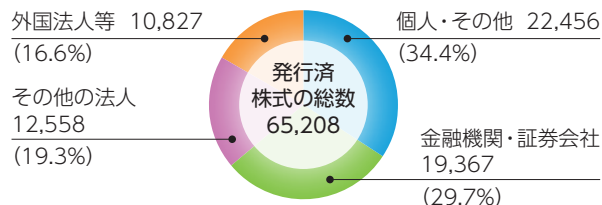
- ① MBL (USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ P.T. Mitsuboshi Belting Indonesia
- ⑤ MBL Antriebstechnik Deutschland GmbH
- ⑥ STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑫ MITSUBOSHI BELTING VIETNAM CO., LTD.

株式の概況 (平成30年3月31日現在)

1. 株式

発行可能株式総数	325,213,000株
発行済株式の総数	65,208,397株
株主数	4,535名

■ 所有者別状況(千株)



(注) 個人・その他には自己株式4,694千株が含まれています。

会社の概要 (平成30年3月31日現在)

商号	三ツ星ベルト株式会社 Mitsuboshi Belting Ltd.
創業	大正8年10月10日
設立	昭和7年10月10日
資本金	81億5,025万1,031円
従業員数	711名
営業目	

ベルト	自動車用ベルト、一般産業用ベルト、OA機器用ベルト、搬送ベルト、その他ベルト
建設資材	建築用防水シート、土木用遮水シート及び関連製品
その他	エンジニアリングストラクチャルフォーム、その他

事業場	神戸本社	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
	東京本社	東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2500代表
	札幌営業所	札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号 ☎(011)841-9135代表
	福岡営業所	福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4451代表
	名古屋工場	愛知県小牧市大字西之島1818番地 ☎(0568)72-4121代表
	四国工場	香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3181代表
	滋賀工場	滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2 ☎(0740)27-0133代表
	神戸事業所	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
	綾部事業所	京都府綾部市城山町7番1 ☎(0773)43-3051代表

2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	6,806	11.25
トヨタ自動車株式会社	2,355	3.89
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,340	3.87
星友持株会	1,927	3.19
日本スタートラスト信託銀行株式会社	1,765	2.92
J. P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S. A. 380578	1,534	2.53
三井物産株式会社	1,500	2.48
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	1,481	2.45
GOVERNMENT OF NORWAY	1,398	2.31
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,372	2.27

(注) 1. 当社は自己株式4,694千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日をもって株式会社三菱UFJ銀行となりました。

役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役 会長	西河紀男	常務執行役員	熊野格夫
代表取締役社長 兼社長執行役員	垣内一	常務執行役員	羽村健
取締役兼 上席常務執行役員	山口良雄	常務執行役員	佐々木孝
取締役兼 上席常務執行役員	中嶋正仁	常務執行役員	増田健吉
取締役兼 常務執行役員	小田芳裕	常務執行役員	池田浩
取締役兼 常務執行役員	片山孝	常務執行役員	森野峰雄
取締役	宇佐美貴史	常務執行役員	又場敬司
取締役	宮尾龍蔵	執行役員	伊藤辰雄
監査役 (常勤)	黒野正治	執行役員	倉本信二
監査役	奥島吉雄	執行役員	下村徹
監査役	橋本正幸	執行役員	熊崎敏美
監査役	大久保裕晴	執行役員	石田和利

(注) 1. 取締役宇佐美貴史及び宮尾龍蔵の両氏は、社外取締役です。

2. 監査役橋本正幸及び大久保裕晴の両氏は、社外監査役です。

会計監査人 新日本有限責任監査法人

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- 上場金融商品取引所 東京証券取引所
- 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料)0120-094-777
- 公告方法 電子公告により行う。
公告掲載ホームページは、http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi_koukoku/index.htmlに掲載しております。
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元株式数の変更及び株式併合について

平成30年6月28日に開催された第103回定時株主総会において、株式併合に係る議案が承認可決されましたので、同年10月1日をもって単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、当社普通株式について株式併合(2株を1株に併合)を実施いたします。

なお、この単元株式数の変更及び株式併合のために、株主様にて必要となるお手続きはございません。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

www.mitsuboshi.co.jp/